

団体・家族用

ミルクハット

プログラムの概要・ねらい

ミルクの空き容器を再利用して帽子を作る。ミルクの空き容器にひもを巻き付けていくと、あら不思議!帽子に変身。オリジナルのミルクハットのでき上がり。また、色使いや装飾によって一人一人の個性と主張が表現することができる。

場所	団体：クラフト室、実習室 家族：サービスセンター前		
時間	1時間～1時間30分		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	各部屋 席数 48
準備物	【利用者】活動に適した服装、救急用品 団体：ぞうきん、新聞紙 【自然の家】材料（ミルクケース1個、ヒモ長1本、ヒモ短2本、ビーズ2個、色紙1枚、安全ピン1本）、ハサミ、ボンド、キリ		

①準備

団体：材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。
 窓を開け、部屋の換気を十分に行う。
 家族：材料をサービスセンター受付にて購入し、備品を受け取る。新聞紙を机に敷く。

②実施の流れ

【時間】

0:00 作り方の説明をする。

0:05 机に新聞紙を敷く。
 ※ボンドが机に付かないように、必ず新聞紙の上で作るように説明する。

ミルクケースの底の中心にキリで穴を開け、
 ヒモ（長い）を通して先端を結ぶ。（写真①②）

ミルクケースの底全体にボンドを付け、うずを巻くようにヒモを付ける。（写真③）

ミルクケースの側面全体にボンドを付け、うずを巻くようにヒモを付ける。（写真④）

残りのヒモは、ヒモ同士にボンドを付けて帽子のつばを作る。

飾り用のヒモ（短い）にビーズを通し、帽子にボンドを付けてヒモを飾る。（写真⑤）

持ち手用のヒモ（短い）の両端を合わせて、帽子の裏にボンドで付ける。

色紙を帽子の大きさに合わせて切り、帽子の裏にボンドで付ける。（写真⑥）

持ち手用のヒモ（短い）に安全ピンを付けてでき上がり。（写真⑦）

1:20 片付け

1:30 終了



③後片付け

団体：ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。（掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照）
 工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ申し出る。
 クラフト室倉庫の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。
 家族：新聞紙をごみ箱へ捨て、机の上をきれいにし、借りた備品をサービスセンター受付に返却する。